

結 果 の 概 要

1 出生数は減少

出生数は84万835人で、前年の86万5239人より2万4404人減少し、1899年の人口動態調査開始以来最少となった(第1表)。

母の年齢(5歳階級)別にみると、45～49歳の階級では前年より増加したが、その他の階級では減少した(第4表(1))。

出生順位別にみると、全ての出生順位で前年より減少した(第4表(2))。

2 死亡数は減少

死亡数は137万2755人で、前年の138万1093人より8338人減少し、11年ぶりの減少となった(第1表)。

死因別にみると、悪性新生物<腫瘍>の死亡数は37万8385人(死亡総数に占める割合は27.6%)であり、前年と同様死因順位の第1位となった。なお、第2位は心疾患(同15.0%)、第3位は老衰(同9.6%)となった。

また、対前年増減をみると、肺炎は7万8450人で、前年より1万7068人と大きく減少している。

なお、新型コロナウイルス感染症は、3466人となっている。(第5表)

3 自然増減数は減少

出生数と死亡数の差である自然増減数は△53万1920人で、前年の△51万5854人より1万6066人減少し、14年連続で減少・低下した(第1表、第2表-1)。

4 死産数は減少

死産数は1万7278胎で、前年の1万9454胎より2176胎減少し、死産率(出産(出生+死産)千対)は20.1で、前年の22.0より低下した(第1表)。

5 婚姻件数は減少

婚姻件数は52万5507組で、前年の59万9007組より7万3500組減少した(第1表)。

6 離婚件数は減少

離婚件数は19万3253組で、前年の20万8496組より1万5243組減少した(第1表)。